

重点目標
やさしい
心とことばで



しょう らい

松籟



富士市立元吉原小学校
学校だより
令和7年5月28日発行

6・7月の生活目標：「落ち着いて安全に過ごせるように考えて行動しよう」～ろうかの歩き方、外での遊び方～

田植え 5月1日（木）、地域にお住いの栗田さんとJ Aふじ伊豆さんのご協力で、今年度も5年生は田植えの体験ができました。地域の方に教えていただきながら田定規を使って稲を少しずつ植えていきました。泥に足を取られ思うように進めずみんな苦勞していましたが、きれいに植え終わると大きな達成感を味わっていました。これから農家さんは、草取りや水・肥料の管理など、暑い夏も毎日の手入れを続けるそうです。「令和の米ききん」と言われるほどお米が高騰し、手に入れるのが難しくなっている世の中なので、稲作の苦勞とお米の大切さを知る良い機会になりました。



桃農家見学 元吉原地区にお住いのみなさんはご存知の「鈴川の桃」。富士市に20年以上勤務していますが今まで全く知りませんでした。海岸沿いは明治から昭和にかけて桃源郷だったそうです。今では数少なくなりましたが、5月8日（木）に3年生が鈴川にお住まいの石井さんの桃畑を見学に行きました。おいしくて大きな桃にするために、摘果をしたり、枝を落としたりと多くの手間をかけて育てていることが分かりました。摘果した小さな青い実から桃の香りも楽しみました。これから3年生は総合的な学習の時間で、元吉原地区の特産物について学んでいきます。右は先のとがった天津桃。→



小中合同プール清掃 3月に卒業した6年生が、中学1年生になってプール清掃に来てくれました。わずか2か月ほどしかたっていませんが、すっかり中学生らしくなって、今まで以上に頼もしい姿に成長していました。本校の最上級生6年生と一緒に、みんなのためにプールの隅から隅までピカピカに磨いてくれました。あとは水を入れてプール開きを待つだけです。



愛校活動 5月17日は雨天のため、予定していた愛校活動（奉仕作業）は、24日（土）に延期されました。今年度からは、「みんなで地域の学校を大切にしていこう」という思いを込めて、「奉仕作業」から「愛校活動」に名称を変え、さらに、高学年の児童の参加も呼び掛けるようにしました。延期になったにもかかわらず、多くの方が参加してくださり、グラウンドだけでなく、花壇や丸池、忠霊塔、プールの周りなど、短い時間で集中して取り組むことができました。学校がきれいになったことも嬉しかったのですが、親子や友達同士で参加して一緒に汗を流している姿もすてきで、とても嬉しい気持ちになりました。ご協力ありがとうございました。



中学生も参加してくれました。↑